

授業中での活用

授業外での活用



教材としての活用：give

表現方法としての活用：take

無理してすべての教科で活用する必要はない。
「デジタルを活用」することで、「より優れた情報提供ができるのか？」を検討することが重要



理科の実験動画を学校単位で用意して
資料集以上のイメージを見せてあげる

ネイティブの英語での、フレーズ活用方法や
正しい発音方法を動画で解説

デジタルの普及によって、様々な表現方法が存在
表現力、プレゼンテーション能力が重要になっている

文章

PowerPoint

動画

デジタルでの提出は、コピー&ペーストができるからダメ？



現実の世界でも、他人の提出物を見て鉛筆で書いても本質は同じであるため
デジタルでのレポート作成を避ける必要はないのでは

【YouTuberになりたい】は、全くダメなことなのか？



発信していくことの大切さを学ぶことが出来るいい機会なのでは？

動画

PowerPoint

【YouTuber】が求められる力

- ・自分の伝えたいこと、意見を伝わりやすくまとめられる力
 - ・自分の意見を相手に伝える表現力
 - ・興味深く伝えるためのデジタルスキル

→実は、社会で求められる力なのでは？



自分の意見を表現する
手法として、デジタルを
活用し、考えを表現する
スキルを身に着ける
授業の展開



【伝える力】の取得

(スタンス)デジタルの活用を制限してまで、個人情報を守るべきである

(理由となる着眼点)

- ① 犯罪の防止
- ② 進行する高齢化社会への対応
- ③ 人々のリテラシー習得スピードと技術発展のスピードの差に開きがある

“便利”を知るきっかけはたくさんあるが危険性、防御策を学ぶことが出来るコンテンツが不足している。わかりにくい。

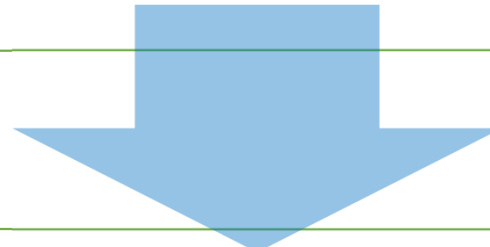
活用すれば便利になることは明らかであるが、使いこなしている人だけに投資なされるのは不公平。

これらの課題が解決されない限り現状では制限するべきである。

現状：インターネットの危険な使い方を防ぐ教育



デジタルのマイナス知識のインプットが主



(個人情報保護等を前提として)

+αインターネットを「活用する」ことを教える



インターネットサービスの成り立ち(EC、アプリサービス、広告など)

生徒たちの「キャリア」に関する考え方の可能性を
広げることが出来る



普段のやり取り

課題解決型宿題

答えが複数ある
課題

個人ワーク
インターネットでの調査

インターネットサービスの
有効的利用法を取得

グループワーク
WEBMTGでの話し合い

新しい働き方への対応

課題解決
プレゼンテーション

自己表現力の磨き上げ

インタラクティブなコミュニケーションスタイル

従来：先生 ⇒ 生徒 が主流



デジタル活用：先生 ⇔ 生徒

クローズドクエスチョン



クローズドクエスチョン + オープンクエスチョン